

教育

アハメド ファイサル
AHMED FOYSAL

教育は国の発展にとって非常に重要です。日本の教育はアジアの中でとても人気がある国です。私はよりよい教育を受けるために日本へ来ました。そして今、進路を決めようとしているところです。私は日本で教育を受けることはとてもいいと思っています。その理由は3つあります。一つ目の理由は、実用的な教育を受けられることです。例えば、自動車やコンピューターの勉強です。学校では教室の中での勉強だけではなく、実習なども行われていて、すぐに仕事に活かすことができます。二つ目の理由は、いろいろな場所にたくさんの学校があることです。日本全国、そして世界中のいろいろな国から学生が集まるので、いろいろな考え方や文化に触れるチャンスがあります。三つ目の理由は、日本にはたくさんの大学や専門学校があることです。いろいろなコースもあり、希望通りの勉強をすることができます。以上の3つの理由から日本の教育は教科書の中の勉強だけではなく本当に素晴らしいと、私は考えるのです。しかし、学校が多いことで、困ることもあります。レベルの高い学校から低い学校まで、いろいろな学校がありますから、ちゃんと調べないと、自分に合った学校を選ぶことができません。でも、私の国から見ると、学校がたくさんある、学校を選ぶことができるのは非常に幸せなことです。

バングラデシュは日本の3分の1くらいの広さで人口は日本より3000万人以上多いですが、学校の数は少ないです。1つのクラスに60人～

70人の学生が勉強しています。バングラデシュの義務教育は5年間と日本と比べると短く、都市部の子どもと地方の子どもとでは教育に大きな差があり、学校に通えない子どももたくさんいます。また、バングラデシュには国立の総合大学は8校しかありません。単科大学をいれても40校しかありません。国立大学はとても難しく、入学できる学生はとても少ないです。そして、私立大学はとても学費が高いため、ここも入学できる学生は少ないです。私の友達も、とても真面目に勉強をがんばりました。彼は高校のクラスでいちばんでした。でも、国立大学には入学できませんでした。仕方がなく私立大学に入学しましたが、学費が払えず、学校をやめてしまいました。このように、毎年たくさんの学生が勉強のチャンスを掴むことができず、将来をあきらめています。私は母国の教育に対する考え方を変えなければいけないと思っています。このような中で私は、日本へ留学するチャンスを掴みました。そのチャンスを活かしたいです。たくさん日本で勉強して、日本で経験を積みたいと思っています。そして、母国バングラデシュの教育発展のために、日本の教育システムを伝えるつもりです。国のどこに住んでも、みんなが安心して教育を受けることができる環境を作りたいです。みんなに平等に勉強するチャンスがあって、みんなが自分の夢を叶えられるような国にしたいです。